

<p>関係法令等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○第3次岐阜県教育ビジョン ○岐阜県教育委員会の基本方針 	<p>学校の教育目標</p> <p>自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成</p>	<p>生徒の実態</p> <p>進学を志望する生徒がほとんどであり、真面目で、学習、高校生活、進路に対して極めて前向きである。反面、具体的な進路観・進路目標については漠然としている。</p>
<p>目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の向上に努める努力をし、社会の一員としての自覚と社会の中での自己実現が可能となるよう支援できる学校 ○基本的生活習慣の確立と規範意識を高める指導のできる学校 ○自らの健康と安全に配慮し、他者も含め命の大切さを学べる学校 	<p>目指す生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一步前に踏み出す行動力 ○ 粘り強い探究力 ○ とともに高め合う協働力 	<p>保護者・地域の期待</p> <p>地域に根差した伝統校であり、進学校としての期待も大きく、からの注目は高い。保護者は本校の教育について深い理解を示し、信頼が厚いと感じる。</p>
		<p>目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力充実のための指導計画の作成とその実施をする。 ○生徒一人一人の理解に努め、職業観・進路意識の高揚のために時をとらえた指導をする。 ○規範意識と社会への貢献についての意識を高める声かけを心がける。

キャリア教育の全体目標			
生徒一人一人が自己を見つめ、社会や時代の変化を理解するとともに、各自のキャリアについて様々な情報を操作しつつ他者との対話を通して、自ら考え、設計・選択・検証・決定し、その過程で生じる課題に取り組む意欲や能力を育みつつ「自己効力感」や「自己有用感」を高める。			
教育活動を通して育成したい能力や態度			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
ホームルームや授業での話し合い活動などを通じて、相互理解を図るとともに、協働で物事に取り組む意識・態度を養う。	社会人や先輩との交流や大学見学などの啓発的な体験を通じて、自己の適性を知り、主体的に行動し、自ら進んで学ぼうとする力を育成する。	授業、ホームルーム、ゼミ学習、課題研究などでの発表、討論を通じて、課題の本質を理解し、その課題を解決することができる力を育成する。	「自己効力感」や「自己有用感」を高め、大学等での学びの選択・検証や大学等卒業後の人生設計において主体的に考え行動する力を養う。

各教科・科目の目標	
国語	伝統的な言語文化の享受と生徒自らの多様な言語活動を通じて、相手の言葉を正しく理解し、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力を養うとともに、論理的な思考力と生き生きとした想像力を高める。
地理	地理、歴史に対する関心を高め、年表、グラフ、資料等から情報を読み取るスキルを身につけ、論理的に考える能力を養うとともに、主体的かつ大局的な見地からの視点を獲得する。
公民	政治経済などの現在の社会的な枠組みを知り、その理論的背景を学ぶとともに、新聞・統計などの活用仕方を見身に付け、現代社会における主体的な生き方を探求する。
数学	与えられた情報を数量化し客観視した上で合理的に判断し、それらをうまく活用する能力を身に付ける。論理的に物事を考え、それを他人に対して分かりやすく提示する能力を身に付ける。
理科	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を身に付ける。
保体	生涯にわたってスポーツライフを継続する資質や能力を養い、健康の保持増進と、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
外国語	言語学習を通して、他国の文化や多様な考え方や生き方を学ぶことにより、自分が生きる社会や世界にも目を向け、他者との積極的な交流を通して自分の貢献できる道を模索する。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して生活を創造する資質・能力を育成する。
情報	社会のしくみを理解し、その中に自分がいる姿を思い描きつつ、日々進化する情報化に対応できる能力と態度を身に付ける。

各学年の重点目標	
第1学年	<p>自己自律</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生という自覚をもち、自律することにより基本的生活習慣を確立する。 ○将来を見据えて、今あるべき姿を考えることにより、学習習慣を確立する。 ○高校生活を送る中で、自分の生き方、集団での役割に関する考えを深める。
第2学年	<p>自己理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習、学校行事、部活動等に積極的に取り組む中で、自己の責任を自覚しつつ、自己の可能性を追求する。 ○自己理解を深め、具体的な進路を考え検証することで自己の将来像の確立に努める。
第3学年	<p>自己実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最終学年としての自覚と責任をもち、具体的な進路目標の達成を目指して積極的に努力する。 ○自己の興味や関心、適性、能力などを大切にしながら、様々な可能性に挑戦して、自己実現に努める。
教務部	生徒一人一人に存在感・達成感をもたせる授業を研究・実践していく。基礎的・基本的知識・技能の習得を図るとともに、思考力、判断力・表現力に繋げ、自ら主体的に学習に取り組む姿勢・態度を育む。
生徒指導部	学校生活のあらゆる場において主体的な判断や行動を促し、生命尊重の心と安全意識の高揚、自他を認め合う人権意識を醸成する。
進路指導部	生徒一人一人が主体的に進路選択し、高い志とチャレンジ精神により進路志望を実現できる生徒を育成する。 ○学びの質を高め、自己の可能性を信じて社会的役割を自覚できる支援・指導に努める。 ○必要な学力、探究心、基本的・汎用的能力の伸長を図る支援・指導に努める。
特別活動部	生徒一人一人が積極的に活動に参加し、成功体験を持つことで達成感を味わい、自己実現を図るとともに、礼節を大切に、「文武両立」を主眼とした指導により、自己管理能力の育成を目指す。

保健厚生部	生徒一人一人が健康に留意し、主体的に健康管理をするとともに、清掃活動等を通して奉仕の心を養い、社会に貢献できる資質や態度を身に着ける。
渉外部	育友会進路委員会として企画・活動する。保護者大学見学会において親の立場から様々な職種につながる学科を見学し、親子の話し合いの機会をつくる。
総合的な探究の時間	生徒一人一人がゼミ学習等の探究活動を通して得られた知識や他者との対話を通して、自分らしい生き方を探求し、健全な人生観・職業観を身につけ、進路選択・進路実現の充実を図ることができるように支援する。
総合的な学習の時間	生徒一人一人が自己理解を深め、社会との関わり方と自分らしい生き方を探求し、健全な人生観・職業観を身につけることで適切な進路選択ができるように支援する。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の充実や改善向上を図る活動により、活動の重要性を理解させ、自己肯定感や自己有用感を育む。 ○学校行事等との連携を図りながら、社会の中での自己に目に向け、具体的・現実的な進路を考えさせる。 ○主体的な活動を通して集団生活での役割を自覚させ、社会性や自己を生かす能力や態度を育成する。
その他の活動	部活動を通して、好ましい人間関係の醸成と他人を思う気持ち等を育てるとともに、体力の向上、自律・協調、奉仕の精神を育て、そこで培ったものが進路実現や将来に役に立つように指導する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価 ○学校関係者評価（生徒・保護者アンケート） ○学校評議員による評価 ○卒業生対象アンケート ○進学結果、模擬試験結果 ○PDCAによるチェック